

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	460	447	460	362
	合計	460	447	460	362
②支出	施設維持管理費	3,144	2,384	2,449	2,218
	うち委託料	1,636	1,408	1,515	1,515
	その他	-	-	-	-
	合計	3,144	2,384	2,449	2,218
③公費投入額(②-①)		2,684	1,937	1,989	1,856
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		478	266	332	380

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は目標に対して1,116人少ない4,884人となり、目標は達成できなかった。

【事業の成果】

- ・「茅葺屋根」の古民家である「ふるさとの家」は、牧区の観光のシンボルとして区内外から利用されており、牧区の活性化・PRにつながっている。
- ・市が使用を許可し、地元団体が営業しているそば店は、令和元年度に、固定客を始め、新規客がSNSに画像等をアップしたことで集客につながり、急激に利用客数が増加したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により激減した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地元団体へ施設の使用を許可しており、引き続き安全に使用できるよう適切に維持管理する。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 231

(単位：千円)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,038	2,694			1,600	44 (雑収入)	1,050
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	344			22	322	

【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

令和 2 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 2 年度目標

- ・利用者数：3,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区原 991 番地
設置	平成 11 年度
構造	木造 2 階建て
施設内容	研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場
面積	延床 568.34 m ²
管理	直営 (業務委託)
利用形態	研修集会施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			目標	実績
利用者数	4,031 人	2,315 人	3,000 人	842 人

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	1	6	0	0
	その他	89	77	105	44
	合計	90	83	105	44
②支出	施設維持管理費	4,610	5,428	3,038	2,694
	うち委託料	3,008	2,920	1,703	1,681
	その他	-	-	-	-
	合計	4,610	5,428	3,038	2,694
③公費投入額 (②-①)		4,520	5,345	2,933	2,650
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		1,121	2,309	978	3,147

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は目標に対して 2,158 人少ない 842 人となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・利用者数は大幅減となったが、新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施した上で郷土料理体験会などのイベントや交流会を開催し、地域の交流施設としての役割を担った。
- ・集客を図るため、地元NPO法人が、春の料理体験や山菜採り体験、みそ作り体験などのイベントを実施した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地元NPO法人等による新規イベントの実施や地元団体の利活用の促進を図るとともに、引き続き、越後田舎体験事業での利用を促進していく。

【執行残額について】

入札差金：施設管理委託料	22
そ の 他：事業実施に伴う執行残	322

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,047	6,959			3,600	264 (財産収入、譲収入)	3,095
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	88				88	

【目的】

道の駅として施設を訪れる観光客等の「休憩場所の確保」と「利用しやすい環境整備」を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・利用者数：68,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区杜氏の郷1番地
 設置 平成15年度
 施設内容 情報発信施設：木造平屋建て 218.14 m²
 公衆トイレ：木造平屋建て 69.71 m²
 駐車場 265台
 面積 延床 287.85 m²
 管理 直営(業務委託)
 利用形態 休憩施設等

○施設の管理実績

・利用者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			目標	実績
利用者数	64,881人	70,796人	68,000人	67,641人

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	0	11	10	-
	その他	328	249	249	264
	合計	328	260	259	264
②支出	施設維持管理費	6,007	6,462	7,047	6,959
	うち委託料	3,387	3,688	3,735	3,734
	その他	-	-	-	-
	合計	6,007	6,462	7,047	6,959
③公費投入額 (②-①)		5,679	6,202	6,788	6,695
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		88	88	100	99

○目標達成状況

- ・利用者数は、目標に対して359人少ない67,641人となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・農産物直売所では地域の農産物や特産品を中心に販売し、道の駅の集客に成果を上げている。
- ・公衆無線LANにより無料で使用できるWi-Fi環境を提供するとともに、地域の観光ポスター・パンフレット等を配置し、観光客等へ情報提供することにより、交流人口の拡大に寄与している。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・頸北地区からの来場者が多いことから、ゆったりとした郷を始めとした近隣観光施設と相互連携してチラシ、パンフレットを配布し、市内全域にPRすることで交流人口の拡大を図る。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による休業期間もあったが、越後よしかわ酒まつり、よしかわ新そばまつり等のイベントの認知度を上げるために積極的な情報発信やPRを行い、来場者の確保に努める。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 88

(単位：千円)

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,350	3,867			1,500	398 (雑収入)	1,969
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	483				483	

【目的】

休止施設を適切に維持管理するとともに、地元団体が、交流事業などで施設を安全に使用できる状態を確保する。

令和 2 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	清里区青柳 3438 番地		
設置	山荘京ヶ岳 本館	平成 2 年度	
	山荘京ヶ岳 新館	平成 6 年度	
	フォークハウス湖畔	平成元年度	
構造	山荘京ヶ岳 本館	木造 2 階建て	
	山荘京ヶ岳 新館	木造 2 階建て (地下：鉄筋コンクリート造)	
	フォークハウス湖畔	鉄筋コンクリート造 3 階建て	
施設内容	山荘京ヶ岳 本館、新館	※平成 29 年度から休止	
	フォークハウス湖畔	※平成 29 年度から休止	
	坊ヶ池湖畔公園	炊事場・トイレ	
面積	延床 1,903.39 m ² (本館 499.44 m ² 、新館 1,036.05 m ² 、湖畔 367.9 m ²)		
管理	直営		
開設期間	坊ヶ池湖畔公園	4 月 2 日～11 月 30 日	
利用形態	公園施設		

※平成 29 年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」を休止している。

地元団体から、イベントや地域交流など地域活性化を目的とした事業を行うため施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部 (大広間・厨房) の使用を許可している。

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	631	688	631	398
	合計	631	688	631	398
②支出	施設維持管理費	3,946	3,892	4,350	3,867
	うち委託料	1,753	1,804	1,939	1,811
	その他	-	-	-	-
	合計	3,946	3,892	4,350	3,867
③公費投入額 (②-①)		3,315	3,204	3,719	3,469
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		-	-	-	-

【事業の成果】

- ・施設内設備等の維持管理を適切に実施したことにより、地元団体が休止後の施設を安全に使用できている。
- ・地元団体が市の使用許可を受け、イベントや交流事業で 20 日間 (参加者数 1,507 人) 使用した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地元団体による施設の利活用を支援するとともに、今後の利用動向を踏まえ、施設の在り方を検討する必要がある。

【執行残額について】

その他：燃料費及び光熱水費の執行残 483

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,464	9,265		500		2,294 (使用料、財産収入、 諸収入)	6,471
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	199				199	

【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・利用者数：13,300人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 名立区名立小泊798番地1

設置 平成5年度

施設内容 ビッグボブスレー：全長470m・ローラースライダー：全長190m

アスレチック：木製15基 芝生広場：1,200㎡

展望台：木造 地下1階・地上2階建て 延床299.42㎡

バーベキューハウス：木造平屋建て 78.67㎡

パーゴラデッキ付休憩棟：木造平屋建て 216.37㎡

管理棟：木造平屋建て 132.2㎡ 等

面積 約35ha

営業期間 6月6日～10月25日の土曜・日曜・祝日(夏休みは金～日曜・祝日)

※お盆期間(8月11日～13日)は無休

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言発令により、オープン日を延期した。(当初オープン日：4月25日)

管理 直営

利用形態 公園施設

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			目標	実績
利用者数	11,695人	14,755人	13,300人	8,313人

・施設管理における市の収支状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	3,258	4,100	3,849	2,281
	その他	533	187	550	513
	合計	3,791	4,287	4,399	2,794
②支出	施設維持管理費	8,900	10,704	9,464	9,265
	うち委託料	620	777	742	742
	その他	-	-	-	-
	合計	8,900	10,704	9,464	9,265
③公費投入額 (②-①)	5,109	6,417	5,065	6,471	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	437	435	381	778	

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は目標に対して4,987人少ない8,313人であり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・予定した修繕を迅速に実施するなど、適切な維持管理を行った結果、事故の発生は無く、安全な利用環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・風害や塩害により施設や設備の老朽化が進行しているため、引き続き適切な点検と計画的な修繕を行っていく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 199

(単位：千円)

決算書 (P298～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,780	9,713			6,300	757 (使用料、諸収入)	2,656
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	67				67	

【目的】

自然環境をいかした余暇活動の場を提供し、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝えるとともに、信越トレイルのビジターセンターとしての利用を促進することにより、地域の活性化を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・利用者数：18,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 板倉区関田 4046 番地 2

設置 昭和 63 年度

構造 グリーンパル光原荘：木造一部鉄骨造 2 階建て

光ヶ原高原センター：鉄筋コンクリート造 2 階建て

施設内容 グリーンパル光原荘：客室 7 室、休憩室 2 室、シャワールーム

キャンプ場：バンガロー（木造 4 棟）、テントサイト（10 箇所）、

野外トイレ（1 棟）、炊事場（1 箇所）ほか

光ヶ原高原センター：トイレ、休憩スペース

面積 29.77ha

管理 直営（業務委託）

利用形態 グリーンパル光原荘：日帰り及び宿泊施設、光ヶ原高原センター：休憩施設

※平成 27 年度から「光ヶ原高原センター」を休止してきたが、地元団体から、イベントや来訪者への対応として一部開放の強い要望を受け、平成 29 年度からトイレ及び休憩スペースとして一部開放している。

決算書 (P298～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			目 標	実 績
グリーンパル 光原荘周辺	11,661人	12,491人	14,000人	10,043人
キャンプ場	303人	366人	400人	607人
高原センター	3,683人	2,888人	3,600人	2,628人
合計	15,647人	15,745人	18,000人	13,278人

・施設管理における市の収支状況

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料収入	281	440	396	642
	その他	128	440	100	115
	合計	409	880	496	757
②支出	施設維持管理費	9,080	10,017	9,780	9,713
	うち委託料	5,864	5,658	6,631	6,631
	その他	-	-	-	-
	合計	9,080	10,017	9,780	9,713
③公費投入額 (②-①)		8,671	9,137	9,284	8,956
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		554	580	516	674

○目標達成状況

- ・利用者数は目標に対して4,722人少ない13,278人となり、目標を達成できなかったが、キャンプ場は、例年の倍近い利用者があった。

【事業の成果】

- ・信越トレイルのビジターセンターに指定されているグリーンパル光原荘や周辺のテントサイトは、トレイルへのアクセス性に優れ、多くのハイカーの宿泊や休憩に利用されており、交流人口の拡大に一定の成果を上げている。
- ・信越トレイルの拠点施設及び県境施設として、市内及び近隣の観光情報等を提供するとともに、景観に配慮し、環境美化に努めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・光ヶ原高原施設の利活用策を再考するとともに、地元団体と連携しながら、利用促進を図っていく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 67

(単位：千円)

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
79,756	67,036	23,623			50 (借入金)	43,363
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	12,720	186	2,363	796	9,375	

【目的】

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿などを、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光地域づくり実践事業 1,111

○令和2年度目標

- ・当市の観光をけん引する担い手の一層の活躍と、互いに連携を深めることによる新たな取組への展開を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・観光に意欲的に取り組む市民や事業者が取組に役立つ知識や技術を習得し、担い手同士の横のつながりを築く場として「観光地域づくり実践未来塾」を開講したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部内容や手法を変更して、2月と3月にオンラインで実施した。
- ・市民自らが当市の魅力を発信しようとする機運を高めるため、SNSを活用した「#(ハッシュタグ)上越もようフォトコンテスト」を3回実施した。



夏のフォトコンテスト
グランプリ写真(高田城址公園)

○目標達成状況

- ・「観光地域づくり実践未来塾」は、新型コロナウイルス感染症の影響でワークショップ等を開催できず、横のつながりを築く機会を十分に設けることができなかった。
- ・「#上越もようフォトコンテスト」は夏、秋、冬と季節ごとに実施し、3回合計で1,763件の投稿があり、「#上越もよう」全体では3,450件の投稿があった。

城下町高田レンタサイクル事業 22

○令和2年度目標

- ・利用実績などをもとに、今後の回遊性を高める施策の検討につなげる。

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和2年7月18日から11月30日までの間、高田世界館を貸出場所としてレンタサイクル事業（実証実験）を実施し、延べ97人の利用があった。

○目標達成状況

- ・利用者アンケートの中で年代、利用目的、行き先のほか、道路状況や料金設定、満足度等について聞き取りを行い、今後の事業検討に必要なデータを収集することができた。

インバウンド推進事業 2,548

○令和2年度目標

- ・市内の観光事業者が自らも楽しみながらインバウンドの推進に取り組むことを促すとともに、当市の観光資源を広く発信し、外国人旅行者の誘客を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越市インバウンド推進事業補助金 (47)

- ・市内の観光事業者が外国人旅行者の受入環境整備の一環として導入する多言語翻訳機の購入費を新たに補助対象に加え、事業者が言葉の壁を感じることなく地域の魅力を伝えることができる態勢づくりを支援した。

(2) ノベルティシールの作成 (662)

- ・上越市滞在のお土産として、また商談会でのPRなどに活用するため、上越市を印象付けるデザインのノベルティシールを作成した。

(3) 上越市クレジットカード移動型利用端末機等導入費補助金 (823)

- ・市民や国内外から訪れる旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者が行うクレジットカード端末機等の導入に係る経費の一部を支援した。

(4) 多言語観光パンフレット「JOETSU TRIP」の更新 (946)

- ・外国人に対して情報を発信するため、多言語観光パンフレット（英語、簡体字、繁体字、韓国語）を更新・印刷したほか、新たにデジタルパンフレット化を行い上越観光Naviに掲載した。

(5) その他事業関係費 (70)

- ・冬期間に妙高市を訪れる外国人スキー客を当市へ誘客するため、高田地区及び直江津地区の英語版手作りマップを増刷した。
- ・一般市民や事業者が外国人旅行者をもてなすための心構えを身に着けることを目的に、セミナーを開催した。
- ・令和3年2月9日に上越市インバウンド推進協議会の主催により、市民が異文化に対応するために必要な基礎知識や心得等を学び、外国人旅行者の動向を理解するためのセミナーを実施した。



ノベルティシール

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症収束後の外国人旅行者の来訪に備え、ノベルティシールの作成や多言語観光パンフレット「JOETSU TRIP」の更新など、プロモーション関連物品の製作を行うとともに、市民及び事業者向けのセミナーの開催やクレジットカード移動型利用端末機等導入費補助金等の交付により、受入環境の整備を図ることができた。

決算書 (P 300～P 301)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

観光営業事業 990

○令和2年度目標

- ・市内外で開催されるイベントや商談会などの機会を通じて、集客イベントへの誘客に向けたPRを行うとともに、令和元年度に作成した観光PR動画を活用し、季節に応じた市内の見どころや体験プログラムに関する情報を発信する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会など関係団体と連携しながら本市への誘客促進に向け営業活動を行った。

(1) 旅行事業者への営業活動 (484)

- ・新潟県観光協会等が主催する観光Web商談会に参加した。
- ・新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン(アフターDC)に係るPR等を実施した。
- ・コロナ禍において、マイクロツーリズムの観点から、県内、近隣県の旅行事業者への訪問営業を実施した。

(2) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信 (193)

- ・JR東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に対して季節に適したイベントや、観光資源など本市の魅力を発信した。

(3) 観光PR用品の購入及びその他事業関係費 (313)

- ・近隣県で開催されるPRイベント等のブースにおいて、令和元年度に作成した観光PR動画を効果的に活用するため、大画面のモニターを購入したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりPRイベントが中止となったことから、水族博物館うみがたりのパンフレットスペースに設置し、来館者へ本市の魅力を発信した。
- ・誘客促進のため出展する市外イベント等において、PRブースの装飾に使用する図柄入りのテーブルクロス(「高田」・「直江津」・「春日山」の3種類)を作成し、時期や内容に合わせてより効果的なPRが可能となった。



図柄入りのテーブルクロス
(上から高田、直江津、春日山)

○目標達成状況

- ・コロナ禍により、県外の旅行事業者への訪問営業を十分に行うことができなかったが、新潟県観光協会が主催する観光Web商談会への参加や、県内、近隣県の旅行事業者への訪問営業を通じ、観光素材やモデルコースの提案を行い、新型コロナウイルス感染症収束後に向けた旅行商品の造成を促した。
- ・市内や周辺エリアの情報収集に努め、上越観光NaviやSNSを活用した情報発信を実施し、誘客促進及び周遊観光のPRを行うことができた。

各種団体等との連携事業 4,832

○令和2年度目標

- ・令和2年度は新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン(アフターDC)が実施されることから、県内外の自治体や観光事業者と連携した取組を進める。

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各団体負担金 (4,824)

- ・ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,216)
情報誌やFacebookによる情報発信や観光スポットの周知、「ほくほくマガジン」のWebアーカイブ化により、当市の観光情報を発信した。また、スタンプラリーの実施を通じて、沿線域内における交流人口の拡大に寄与した。
- ・公益社団法人新潟県観光協会 (1,622)
観光情報の発信、誘客宣伝活動等を行い、地域経済の持続的な発展と活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与した。
- ・新潟県国際観光テーマ地区推進協議会 (-)
訪日リピーター富裕層を顧客に持つ台湾旅行エージェント・メディア向けのオンライン観光セミナーに参加したほか、台湾の訪日外国人旅行者向けフリーマガジンに当市の観光情報を掲載し、新型コロナウイルス感染症収束後の誘客に向けて、当市の観光PRを実施した。
- ・にいがたスキー100年委員会 (166)
県内のスキーに係る基礎情報の整備、各種メディアを活用した効率的かつ効果的な情報収集と情報発信を行った。
- ・上信越ふるさと街道協議会 (10)
長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体と連携した情報発信等を行った。
- ・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)
台湾・香港・アメリカ・オーストラリアに向けて、Facebookで北陸新幹線停車駅の13都市の観光情報を発信し、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンドの誘客促進を図った。
- ・日本さくらの会 (10)
国花である「桜」の愛護、保存、普及活動等の取組を行った。
- ・「うまさぎっしり新潟」観光推進協議会 (983)
「新潟県・庄内エリアアフターDC」事業として、公式ガイドブックを35万部作成し、全国のJR主要駅、新潟県・庄内エリアの観光施設、ホテル・旅館、高速道路SA・PA等で配布した。また、コロナ禍における行動範囲の変化を考慮して、県内及び近隣県からの誘客促進へ向けたメディア展開を図った。
- ・北アルプス日本海広域観光連携会議 (315)
北アルプス日本海エリアを対象としたデジタルスタンプラリーの実施に向けた準備や、信越高原エリアと連携したサイクリング周遊コースの造成等を行い、新型コロナウイルス感染症収束後及び近年のニーズを反映させた周遊観光に資する取組を実施した。
- ・関東観光広域連携事業推進協議会 (100)
外国人旅行者を誘客するための各種取組（動態調査、モニターツアー、プロモーション事業、情報発信、インバウンドセミナーの実施等）により、関東（新潟県、長野県、福島県を含む）における外国人旅行者の受入環境整備の推進及び国際的な観光認知度の向上を図った。
- ・新潟県スキー観光産業振興協議会負担金 (2)
県内のスキーに関するイベントの実施や各種イベントでの情報発信により、県内スキー観光産業の振興を図った。

(2) 会議等への出張旅費等 (8)

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・コロナ禍においても各団体が持つ特性をいかし、構成自治体などと連携して情報発信等を行い、当市の認知度向上と誘客促進を図ることができた。

上越地域連携事業 1,200

○令和2年度目標

- ・3市（上越市、糸魚川市、妙高市）による広域周遊観光に向けた事業を実施し、当地域への誘客を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 広域観光パンフレット作成委託料 (1,000)

- ・上越・妙高広域観光パンフレット「上越・妙高 (jam旅)」を年2回発行した（秋冬号・春夏号、各35,000部）。
- ・新たにデジタルブック対応データを作成し、上越観光Navi等を通じて幅広く観光情報を発信した。

(2) 新潟観光ブランド確立支援事業負担金 (200)

- ・上越・糸魚川・妙高エリアの広域観光事業として、3市サイクリングコースマップの作成や、YouTubeを通じたサイクリングコースの紹介、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド誘客に向けた周遊案内動画作成等の取組を行った。

○目標達成状況

- ・近隣自治体や県、観光協会と連携し、上越地域の様々な魅力を効果的に発信することで認知度の向上に寄与したほか、3市のサイクリングコースを活用した誘客や、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド誘客に向け事業を実施することができた。

佐渡広域観光誘客事業 2

○令和2年度目標

- ・佐渡市と連携した情報発信や、「佐渡金銀山」の世界遺産の登録推進活動への参画により、周遊観光の促進を図る。
- ・今後、拡大が期待される外国人旅行者を取り込むため、「SADO-JOETSU Pass」を活用し、海外向けのPRを強化する。

○実施内容、これまでの経過等

佐渡市・上越市観光・航路連携協議会負担金 (2)

- ・就航船舶の変更を見据えた小木直江津航路の活性化策や「SADO-JOETSU Pass」を活用したインバウンド誘客など、「佐渡金銀山」の世界遺産登録も視野に両市の観光施策について、担当者会議を実施し意見交換を行った。

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたPRイベントへの参加や両市相互の送客ツアー等の事業は全て中止となったほか、外国人旅行者の誘客が見込めないことから、海外向けWeb広告の作成も中止した。

決算書 (P 300～P 301)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

観光宣伝物作成事業 5,632

○令和2年度目標

- ・市内の魅力ある観光資源について、市内を周遊するモデルコースと共に、時宜を捉え発信する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各種パンフレット等の作成 (5,324)

名称	作成数	決算額
総合パンフレット[内容更新・増刷]	70,000部	4,235
春日山城跡めぐり[内容更新・増刷]	60,000部	1,089

(2) 画像編集ソフトの購入 (54)

- ・各種キャンペーン等で使用するイベント告知用宣伝物の作成及び情報誌やWebへ提供する画像など、観光宣伝に必要な素材の編集に使用するためのソフトウェアの年間使用権を購入した。

(3) 上越市・上田市桜まつりポスターの作成 (144)

- ・両市の春の桜まつりを共同でPRすることにより、姉妹都市として市民交流の促進と連携強化を図った。

(4) 観光PR動画の修正 (110)

- ・令和元年度に作成した観光PR動画(家族編)について、一部素材を差し替える必要が生じ、修正した。

○目標達成状況

- ・本市ならではの観光資源を美しい写真に収め、ポスター等に活用したことにより、より訴求力のある情報発信を行うことができた。

観光インフォメーション利用環境整備事業 1,375

○令和2年度目標

- ・四季の見どころや体験プログラムなどについて魅力的な画像・映像を用いながら紹介するとともに、サイトの利便性や操作性の向上に向けた技術的な改修を随時行う。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 筆耕翻訳料 (9)

- ・上越観光Naviに掲載する情報の更新に伴い、英語翻訳を行った。

(2) 観光インフォメーションウェブサイト保守管理委託料 (1,366)

- ・上越市の概要を紹介するポータルページを作成した。
- ・けんけんず公式Instagramで行っているフォトコンテストの結果発表ページを作成した。
- ・Instagram内で、「#上越もよう」をつけて投稿した写真がフォトライブラリーとして流れる機能を構築し、内容の充実を図った。

○目標達成状況

- ・利用者の目線に立ちながらWebサイトの利便性向上に必要な機能等を随時更新し、本市ならではの歴史、文化、風土、物語をいかした周遊観光の新たな魅力をPRすることができた。

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

謙信公ゆかりの地振興事業 1,346

○令和2年度目標

- ・上越市埋蔵文化財センターで開催する企画展の入込数：29,000人

○実施内容、これまでの経過等

謙信公ゆかりの地振興事業交付金

- ・官民一体となって組織された「謙信公の郷振興協議会」に交付金を交付し、各種事業を実施することにより、上杉謙信公と春日山城を中心とした上越市の魅力を市内外に発信し、誘客促進を図った。

<謙信公の郷振興協議会の主な事業>

- ・企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」の開催

会 期：令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（水）

※新型コロナウイルス感染症及び大雪の影響により、4月19日（日）から5月13日（水）まで、令和3年1月10日（日）から1月19日（火）まで閉鎖

会 場：上越市埋蔵文化財センター

入場者数：20,298人

内 容：上杉謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品の展示を始め、春日山城のジオラマ、越後上越上杉おもてなし武将隊を活用した映像など、分かりやすい展示を実施した。

※甲冑体験は新型コロナウイルス感染症予防のため中止

- ・謙信公にまつわるエピソード解説動画の配信

第95回謙信公祭の開催に合わせて上越ケーブルビジョンと連携し、花ヶ前盛明氏による謙信公に関するエピソード解説動画を配信した。

- ・宣伝広告等

「上杉謙信公のふるさと・上越市」の知名度向上及び企画展への誘客促進を図るため、雑誌・フリーペーパーを始めとする各種媒体へ広告を掲載した。また、上越IC、上越高田ICから春日山城跡や上越市埋蔵文化財センターへの案内看板を設置し、案内を行った。

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症や大雪の影響で閉鎖した期間があったことから、企画展の入込数は20,298人となり、目標を達成することができなかった。

「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 23,649

○令和2年度目標

- ・春日山城跡入込数：270,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光客受入体制充実事業委託料 (23,460)

- ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センター等で、観光ガイドや写真撮影などのもてなし活動を行った。

- ・上越市内のイベントや観光資源、スポット等を紹介する動画を作成し、武将隊公式YouTubeチャンネルやSNSを通じて広く発信した。

(2) 事業用車両点検整備等 (189)

決算書 (P 300～P 301)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少し、春日山城跡への入込数は 190,896 人となり、目標を達成することができなかった。

灯の回廊事業 1,086

○令和 2 年度目標

- ・目標入込数：28,000 人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和 3 年 2 月 27 日 (土)

会場 安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区 (岩の原葡萄園周辺)、名立区 (不動地域)

主催 安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、牧まちづくり実行委員会、高士地区雪まつり実行委員会、不動森あげ米かい、上越市

事業内容 上越市の冬のイベントとして、安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区及び名立区の雪灯りイベントを開催し、実施地区をつなぎ合わせた一体的な P R を行った。

・経費の内訳

消耗品 (ろうそく、紙コップ等) (441)

ポスター・パンフレット作成 (440)

パンフレット市内全戸配布運搬料等 (203)

道路使用許可申請手数料 (2)

・入込数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入込数	28,430人	9,220人	7,970人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、シャトルバスやツアーバスの運行、茶屋の開設、キャンドルの設置を取りやめる会場があるなど、一部内容を縮小して開催した。
- ・当日は天候に恵まれたものの、規模を縮小しての実施となったことから入込数が減少し、目標を達成することができなかった。

信越トレイル利用促進事業 95

○令和 2 年度目標

- ・信越トレイルの利用者数:6,000 人 (市内の測定可能な箇所での利用者数の目標値)

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光 N a v i による情報発信やパンフレットを配置するなど P R を行った。

○目標達成状況

- ・信越トレイル連絡会からトレッキングの自粛要請がなされるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、信越トレイル利用者数が 3,893 人となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

観光資源魅力発信等事業 23,148

○令和2年度目標

- ・国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大により落ち込む消費を回復し、観光客の誘客拡大と地域経済への波及効果を高めるため、新たな観光コンテンツの開発やプロモーション活動等を一体的に取り組む。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 飲食店クーポン付ガイドブック等作成委託料 (4,890)

- ・Web版「飲食店クーポン付ガイドブック」を作成し、ジャンルごとに上越市内の飲食店を100店舗紹介するとともに、それぞれの店舗で使えるお得なクーポンを掲載した。
- ・Web版のほか、冊子で5,000部を発行し、市内の商業施設や観光施設、市の関係施設などに配布した。
- ・チラシ60,000部を市内に配達される新聞に折り込み、事業の周知を行った。

(2) 着地型コンテンツ開発・発信備品購入費 (3,629)

- ・当市の新たな魅力を創出・発信するため、LEDフルカラー投光器19台を購入し、小林古径記念美術館の庭園及びレルヒ祭でのレルヒ像のライトアップを行った。
- ・小林古径記念美術館の庭園でのライトアップに合わせて、市内の2事業者による食事企画が実施された。

(3) 宿泊事業者プロモーション・プログラム開発事業補助金等 (14,629)

- ・市内宿泊事業者に対し、宿泊需要の喚起及び宿の付加価値向上による市内経済の活性化のために行うプロモーション事業や新たな体験プログラム等の開発に必要な経費の一部について支援した。(申請件数19件、交付金額合計14,282千円)

○目標達成状況

- ・飲食店クーポン付ガイドブック等作成事業について、事業実施後に行ったアンケート調査では、最大で171件の利用があったとする飲食事業者のほか、半数以上が「売上げ以外の効果として店舗の周知に役立った」と回答しており、コロナ禍における市内飲食店の周知に寄与した。
- ・宿泊事業者プロモーション・プログラム開発事業補助金について、宿泊事業者から「効果的なプロモーションを行うことができた」「補助金を利用して開発したプログラムは予想以上の反響であった」などの声が得られており、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・観光地域づくり実践事業では、実施方法を変更してオンラインで講座を実施したが、2回の合計で300回を超える視聴参加があり、当市の観光資源や市内事業者の連携事例等を紹介し、今後の連携につなげることができた。また、コロナ禍をきっかけとして、市民自らが地域の魅力に改めて向き合い、その魅力を発信しようとする機運を高めるとともに、投稿された写真などを上越観光Naviへ掲載するなど、新たな観光PR素材として活用することができた。
- ・城下町高田レンタサイクル事業では、アンケート結果によると、利用目的は「観光」が最も多く、行き先は「高田城址公園エリア」「本町エリア」が主となっており、高田の街なか回遊観光の一助となった。
- ・新型コロナウイルス感染症収束後の外国人旅行者の来訪に備え、多言語翻訳機やタクシー事業者が行うクレジットカード端末機の導入費用の補助のほか、多言語観光パンフレット「JOETSU TRIP」のデジタル化、外国人旅行者おもてなし基礎セミナーを通じて、多角的に受入環境の整備を推進することができた。

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

- ・コロナ禍であり、関西圏や関東圏での商談会に出向くことはできなかったが、マイクロツーリズムを意識した県内や近隣県への旅行事業者を対象とした訪問営業の実施により、当市の観光資源や魅力をPRし商品造成を促すことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症収束後の誘客に向け、上越観光NaviやSNS等を活用し、観光認知度の向上や観光資源を組合せた効果的な情報発信を行うことができた。
- ・新たな観光コンテンツの開発やプロモーション活動等を一体的に取り組んだことで、新型コロナウイルス感染症の拡大により落ち込む消費の回復と誘客促進に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・観光地域づくり実践事業においては、新型コロナウイルス感染症の状況を見定めながら、プレーヤーのつながりを築く機会を設けるとともに、オンラインを効果的に取り入れた講座内容や手法を検討していく必要がある。
- ・佐渡金銀山の世界遺産登録や北陸新幹線の敦賀延伸による交流人口の拡大を見据え、新潟県における西の玄関口として佐渡汽船や旅行事業者、周辺自治体と連携して取組を展開していく必要がある。
- ・謙信公の郷振興協議会について、所期の目的を達成したとして解散することとなったが、官民連携の下、当市を代表する上杉謙信公、春日山城を後世に伝える取組を関係者の皆さんとともに引き続き行っていく必要がある。
- ・観光営業事業においては、教育旅行や団体旅行の獲得に向け、旅行商品造成促進事業補助金や県等の制度との組合せによる商品造成の提案を行うなど、相手のニーズを踏まえた商談の実施により、観光客の誘致を進める必要がある。また、個人旅行に関しては、上越観光NaviやSNSなどを通じて、現地でしか体験できない貴重なコンテンツや季節に応じた旬の情報を継続的に発信し、当市に興味と感心を持ち、来訪を促進させる情報の届け方を検討する必要がある。
- ・観光資源魅力発信等事業により開発された新たな観光コンテンツや、実施されたプロモーション活動等を一過性のものとするかないよう、事業者等と引き続き連携し、コンテンツの磨き上げや、様々な媒体、機会を通じて情報発信を行っていく必要がある。

【執行残額について】

事業費節減：灯の回廊事業において、未開催地区へのパンフレットの配布方法を班回覧に見直したことによる印刷製本費の節減	186
事業未実施：佐渡広域観光誘客事業に係る会議やイベントの中止に伴う旅費等の執行残	73
観光営業事業に係る各種イベントや商談会の中止に伴う旅費等の執行残	1,249
各種団体等との連携事業に係る会議等の中止に伴う旅費の執行残	176
観光宣伝物作成事業に係るポスター作成の中止に伴う委託料の執行残	382
インバウンド推進事業に係る商談会の中止に伴う参加負担金等の執行残	483
入札差額：観光宣伝物作成事業に係る印刷製本費等の入札差金	162
インバウンド推進事業に係る印刷製本費の入札差金	20
観光地域づくり実践事業における委託料等の入札差金	213
観光資源魅力発信等事業に係る備品購入費の入札差金	401
その他：佐渡広域観光誘客事業に係る負担金の執行残	648
各種団体等との連携事業に係る負担金の執行残	647
「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業に係る委託料の精算等に伴う執行残	
	2,429

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

灯の回廊事業に係る消耗品費等の執行残	616
インバウンド推進事業に係る補助金等の執行残	1,785
観光地域づくり実践事業における報償金等の執行残	735
観光資源魅力発信等事業に係る備品購入費等の執行残	2,164
事業実施に伴う執行残	351

(単位：千円)

決算書 (P300～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	友好交流促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,288	306					306
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,982		1,870	112		

【目的】

海外の姉妹・友好都市との幅広い分野での相互交流により友好親善を促進するとともに、地域社会の活性化に寄与する。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・オーストラリア・カウラ市の職員や中国・大連市旅順口区の児童・生徒を受け入れるなど、交流の絆を深める。

○実施内容、これまでの経過等

- ・オーストラリア・カウラ市のカウラ日本庭園・文化センターから、新型コロナウイルス感染症の影響により施設の維持が困難になったことを理由とした支援要請があり、上越日豪協会の方々を始め、ゆかりのある市民など有志により寄附を行った。
- ・中国・大連市旅順口区から、新型コロナウイルス感染症対策の支援物資として、マスク28,000枚と励ましのビデオメッセージを受領し、当市からは防護服420着を支援した。
- ・韓国・浦項市において、当市を含む海外姉妹友好都市を紹介する「海外姉妹友好都市week」が開催され、当市中学生が作成した絵画5点が展示されたほか、浦項市立交響楽団・合唱団から励ましのビデオメッセージ及び演奏の動画を受領し、上越観光Navi等において放映した。

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、オーストラリア・カウラ市及び中国・大連市旅順口区とは、直接的な交流を行うことはできなかったが、施設に対する寄附や物資の相互支援を通じて、災害時等における姉妹都市の重要性を認識することができた。
- ・韓国・浦項市とは、両市の市民や文化団体が手作りした絵画やメッセージ動画の相互支援を通じて、互いの都市について理解を深めてもらうことができた。

【事業の成果】

- ・寄附や相互支援など、コロナ禍においても実施可能な取組を通じて、国際交流の絆を深めることができた。

決算書 (P300～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	友好交流促進事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・コロナ禍における新たな交流の在り方を模索するとともに、新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、市民が主体となる取組を促し、友好関係を発展させていく。

【執行残額について】

事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響により計画した受入れが中止となったことによる
 執行残 1,870
 入札差額：防護服購入の入札差金 112

(単位：千円)

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,013	2,377					2,377
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	636		608		28	

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・情報発信の強化などにより営業活動の充実を図るとともに、受入家庭及びインストラクターを確保し、受入数40団体以上、4,000人以上、8,000泊以上とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
 - ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区及び名立区(11区)
- (1) 各種営業活動、研修会等への参加(272)
 - ・当初は首都圏、関西圏域の旅行事業者や学校等を訪問し営業活動を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたため、新たに長野市、新潟市、妙高市、糸魚川市で教育旅行の商談会を行い、近隣市からの新規団体の開拓を図った。
 - ・上越市と十日町市で行われたSDGs等の研修会に4回参加した。
 - (2) 越後田舎体験推進協議会負担金等(1,729)
 - ・越後田舎体験の推進を目的に官民で組織している協議会への負担金(1,719)
負担金：上越市1,719(47%) 十日町市1,939(53%)
 - ・大島庄屋の家の越後田舎体験推進協議会会費(10)
 - (3) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品購入ほか(376)

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセルする団体が増加したことから、受入数は15団体、1,004人、339泊となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	越後田舎体験推進事業		

・越後田舎体験受入数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
団体数(団体)	43	40	15
人数(人)	3,959	3,273	1,004
宿泊数(泊) ※延べ宿泊数	8,081	6,528	339

【事業の成果】

- ・受入数は、目標を達成することができなかったが、売上げは、宿泊施設、インストラクター及び民泊受入家庭である市民の収入となっており、地域経済に寄与した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初受け入れ予定であった関東方面からの団体は全てキャンセルとなり、受入れ団体は新潟県と長野県の学校のみであった。
- ・県の新潟県農泊・農山漁村体験受入持続化支援事業を活用し、新規体験プログラムの構築と既存プログラムの見直しについて研修会を実施した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・これまで事業の対象は教育旅行で訪れる学生が中心だったが、今後は新規団体の開拓に向け大人を対象とする体験プログラムについても充実を図り、地域の魅力を発信する必要がある。
- ・民泊の受入家庭数が、高齢化により減少していくことから、新規受入家庭の確保のため、募集活動や説明会等を行う必要がある。
- ・コロナ禍により関東からの常連校はキャンセルとなったが、県内や長野県から新規の受入れがあり、今後も継続されるよう対応し、受入れ数の増加につなげたい。

【執行残額について】

事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の中止に伴う委託料の執行残	608
その他：事業実施に伴う執行残	28

(単位：千円)

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
116,365	108,742	1,973	4,203	1,700	10,570 (使用料、助成収入、 諸収入)	90,296
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
3,472	4,151				4,151	

【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- 各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 69,464

[維持管理施設]

春日山城跡(駐車場、公衆トイレ、多目的トイレ)、愛の風公園(公衆トイレ)、愛宕谷公園(公衆トイレ)、親鸞聖人上陸の地(駐車場)、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳澤記念公園(記念館)、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、国分寺駐車場、居多神社前駐車場(公衆トイレ)、南高田駅駐輪場、林泉寺駐車場(公衆トイレ)、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

[維持管理経費]

報酬 1,634 (会計年度任用職員報酬)
 職員手当等 21 (会計年度任用職員期末手当)
 共済費 238 (会計年度任用職員社会保険料、雇用保険料)
 報償金 86 (公園管理報償金)
 旅費 35 (会計年度任用職員費用弁償)
 需用費 11,379 (消耗品費 1,010、光熱水費 5,970、修繕料 4,399)
 役員費 5,152 (Wi-Fi回線整備・使用料 2,269、上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 484等)
 委託料 45,639 (海水浴場事業委託料 14,903、海岸清掃・整備委託料 14,339、観光施設清掃・整備委託料 3,499、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 4,834、高田まちなかサイン整備委託料 3,945等)

決算書 (P 302～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

使用料及び賃借料 5,197 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料 3,336 等)
 原材料費 79 (補修資材等)
 負担金補助及び交付金 4 (公衆無線 LAN 機器電気料負担金)

<安塚区> 1,010

[維持管理施設]

雪だるま高原(信越トレイル枝線、高原内国有林野)、直峰城跡(管理棟、公衆トイレ、駐車場)、
 観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 24 (消耗品費 4、光熱水費 20)
 役務費 4 (手数料)
 委託料 373 (公園等管理委託料)
 使用料及び賃借料 606 (雪だるま高原及び観光看板敷地借地料)
 原材料費 3 (観光看板補修資材)

<大島区> 80

[維持管理施設]

大山広場、岩栗運動広場等

[維持管理経費]

委託料 80 (岩栗運動広場公衆トイレ浄化槽清掃業務委託料)

<牧区> 696

[維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道(宇津俣峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 53 (消耗品費 3、光熱水費 33、宮繕修繕料 17)
 役務費 138 (水質検査手数料)
 委託料 463 (公園等管理業務委託料)
 使用料及び賃借料 42 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 8,508

[維持管理施設]

柿崎中央海水浴場(駐車場、公衆トイレ)、大出口公園(公衆トイレ)、坂田池園地(駐車場、
 遊歩道、公衆トイレ)、米山登山道、下牧休憩施設、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 1,818 (消耗品費 63、光熱水費 848、修繕料 907)
 役務費 290 (トイレ汲み取り手数料 260、浄化槽検査手数料 17、土地賃借契約
 用収入印紙代 13)
 委託料 5,947 (海水浴場事業委託料 4,280、観光施設清掃・整備委託料等 1,667)
 使用料及び賃借料 316 (観光施設用地借地料)
 工事請負費 137 (柿崎中央海岸水道メーター器変更工事)

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

<大潟区> 7,380

[維持管理施設]

鵜の浜海水浴場(鵜の浜海岸、公衆トイレ)、人魚伝説公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 524 (消耗品費 20、光熱水費 277、修繕料 227)
 手数料 203 (トイレ汲み取り手数料)
 委託料 3,960 (海水浴場事業委託料 3,872、人魚伝説公園草刈等 88)
 使用料及び賃借料 393 (看板用地借地料 328、下水道使用料 65)
 工事請負費 815 (案内看板撤去工事)
 負担金補助及び交付金 1,485 (鵜の浜温泉6号井ポンプ購入補助金)

<頸城区> 8,170

[維持管理施設]

大池いこいの森(ビジターセンター、キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、観光案内看板等)

[維持管理経費]

需用費 646 (消耗品費 19、光熱水費 297、修繕料 330)
 役務費 419 (トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 1,987 (公園等管理委託料 1,907、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料 80)
 使用料及び賃借料 644 (大池いこいの森施設等借地料 551、集落排水使用料 93)
 原材料費 7 (看板資材等)
 負担金補助及び交付金 4,380 (大池いこいの森施設運営補助金)
 補償、補填及び賠償金 87 (大池いこいの森等踏荒補償料)

<吉川区> 1,235

[維持管理施設]

長峰池公園(駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、尾神岳遊歩道、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 374 (消耗品費 25、光熱水費 91、修繕料 258)
 役務費 17 (浄化槽検査手数料)
 委託料 716 (公園等管理委託料 514、浄化槽及び清掃維持管理委託料 202)
 使用料及び賃借料 75 (観光施設等借地料)
 原材料費 53 (補修資材等)

<中郷区> 5,815

[維持管理施設]

泉縄文公園(駐車場、公衆トイレ)、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 595 (公衆トイレ及び温泉施設、泉縄文公園会計年度任用職員報酬)
 需用費 1,630 (消耗品費 64、光熱水費 1,351、修繕料 215)
 役務費 9 (浄化槽水質検査手数料)
 委託料 3,426 (公園等管理業務委託料 2,890、松ヶ峯温泉源泉ガスセパレーター清掃業務委託料 242、道路脇支障木伐採等業務委託料 165、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 129)
 使用料及び賃借料 155 (観光案内看板用地借地料 143、下水道使用料 12)

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

<板倉区> 1,932

[維持管理施設]

箕冠城址公園、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、山寺薬師公衆トイレ、信越トレイル接続道(光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 216 (消耗品費 6、光熱水費 149、修繕料 61)

役務費 9 (手数料)

委託料 1,557 (公園等管理委託料 808、観光施設清掃・整備委託料 500、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 249)

使用料及び賃借料 150 (観光看板敷地賃借料)

<清里区> 560

[維持管理施設]

信越トレイル、接続道(梨平峠)

[維持管理経費]

需用費 194 (修繕料)

委託料 366 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 3,885

[維持管理施設]

東部緑地公園(駐車場)、三和米と酒の謎蔵、三和味の謎蔵、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 3,782 (公園管理業務委託料 223、物品移設等委託料 3,520、分析業務委託料 39)

使用料及び賃借料 103 (米本陣用地、看板用地借地料)

<名立区> 7

[維持管理施設]

名立ポケットビーチ等

[維持管理経費]

報酬 7 (ポケットビーチ草刈業務会計年度任用職員報酬)

○目標達成状況

- 各観光施設を適切に維持管理することで、利用者の受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生を抑制し、観光誘客と地域振興につなげることができた。

【事業の成果】

- 各観光施設を定期的に見回り、施設の清掃や遊具の点検などを実施したほか、破損個所を適切に修繕したことで、安全・安心で快適な利用環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 海水浴場について、利用者から安全・安心に楽しんでいただくため、離岸流対策や水難事故発生時の対応策の見直しを行うとともに、集客に向けた営業や情報提供の在り方を再考する。
- 施設の定期的な見回りを徹底し、危険個所の修繕や草刈り等を実施することで、安全で快適に利用してもらえるようにする。

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 4,151

(単位：千円)

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
544,166	443,373			125,700	70 (請収入)	317,603
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	100,793		422	515	99,856	

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

・休止中の施設を除く、指定管理者制度導入15施設の利用者数 901,578人

※指定管理者から令和元年度末に提出された令和2年度の事業計画書に基づく利用者数

＜指定管理者制度導入施設 15施設＞

- ① 五智歴史の里会館
- ②～④ リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大湯健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川緑地等利用施設
- ⑪ 吉川ゆったりの郷
- ⑫ 板倉保養センター
- ⑬ ぬしんの里記念館
- ⑭ 三和ネイチャーリングホテル米本陣
- ⑮ うみてらす名立

＜休止中の維持管理施設 1施設＞

- ⑯ 大島あさひ荘

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<観光施設等管理総務費>

○実施内容、これまでの経過等

管理運営の効率化や施設の適正配置に向けた取組を推進したほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けた温浴施設などに減収補填を行うなど観光施設の安定的かつ継続的な維持管理に取り組んだ。

<① 五智歴史の里会館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	国府 1 丁目 18 番 28 号
設置	平成 19 年度
構造	木造
面積	延床 240 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 19 年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計画	実績
利用者数	17,667 人	19,737 人	19,850 人	9,500 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			予算	実績
①収入	-	-	-	-
②支出	施設管理委託料	63	-	-
	五智歴史の里会館管理運営委託料	5,851	5,960	5,960
	使用料及び賃借料	29	-	-
	合計	5,943	5,960	5,960
③公費投入額 (②-①)	5,943	5,960	5,960	5,960
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	336	302	300	627

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	-	-	4	-
	五智歴史の里会館管理運営委託料	5,851	5,960	5,960	5,960
	その他	901	1,462	810	550
②支出		6,860	6,939	7,069	6,424
差引(①-②)		△108	483	△295	86

※休館日の増加や開館時間の短縮など、経費の削減及び職場環境の改善に努めた。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<②～④ リフレッシュビレッジ施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

くわどり湯ったり村

所在地	大字皆口 601 番地
設置	平成 11 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,524 m ²
管理	指定管理

ヨーデル金谷

所在地	大貫 2 丁目 17 番 40 号
設置	平成 11 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 400 m ²
管理	指定管理

ゆったりの家

所在地	大字横畑 659 番地
設置	平成 14 年度
構造	木造
面積	延床 154 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	リフレ上越山里振興株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計画	実績
くわどり湯ったり村	48,744 人	44,038 人	47,850 人	22,361 人
うち宿泊	3,165 人	2,661 人	3,030 人	1,070 人
うち日帰り	45,579 人	41,377 人	44,820 人	21,291 人
ヨーデル金谷	23,406 人	22,539 人	22,650 人	16,869 人
ゆったりの家	1,176 人	888 人	900 人	104 人
合計	73,326 人	67,465 人	71,400 人	39,334 人

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	4,814	8,764	4,752	4,237
	リフレッシュビレッジ施設管理運営委託料	44,418	42,933	42,933	42,933
	その他委託料	2,379	2,149	1,390	1,186
	使用料及び賃借料	62	40	67	35
	工事請負費	-	-	8,404	8,404
	備品購入費	85	146	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	3,502	7,783	-
	その他	61	-	301	300
合計		51,819	57,534	65,630	57,095
③公費投入額 (②-①)		51,819	57,534	65,630	57,095
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		707	853	919	1,452

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するため予算計上したものの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	128,557	121,860	103,500	67,171
	リフレッシュビレッジ施設管理運営委託料	41,140	39,385	39,030	39,030
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	3,502	-	-
	その他	2,056	616	500	22,633
②支出		165,107	154,025	138,207	121,461
差引 (①-②)		6,646	11,338	4,823	7,373

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

※雇用調整助成金等やG o T o トラベル事業を活用したほか、くわどり湯ったり村では冬期間の営業を土・日・祝日とし、損失の縮減に努めた。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑤ 安塚雪だるま高原>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

キューピットバレイスキー場

所在地	安塚区須川 4820 番地
設置	平成 2 年度 ※平成 11 年度から公の施設として管理
構造	鉄骨造(センターハウス、ゴンドラ、リフト)、木造(ビレッジ、久比岐野)
面積	延床 16,126 m ² (センターハウス、ビレッジ、久比岐野等)
管理	指定管理

棚田動植物公園

所在地	安塚区須川 11584 番地
設置	平成 15 年度
構造	—
面積	—
管理	指定管理

菱ヶ岳グリーンパーク

所在地	安塚区須川 11497 番地
設置	昭和 61 年度
構造	木造
面積	延床 102 m ²
管理	指定管理

※令和元年度から休止

ゆきだるま温泉雪の湯

所在地	安塚区須川 1881 番地
設置	平成 3 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,423 m ²
管理	指定管理

※令和元年 11 月から休止

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	株式会社スマイルリゾート
指定の期間	令和 2 年 7 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 (前指定管理者の指定残期間)

※令和 2 年 3 月 31 日付けで前指定管理者の指定を取消し、令和 2 年 4 月から 6 月までは市直営による施設管理、令和 2 年 7 月 1 日から株式会社スマイルリゾートを指定管理者に指定

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計 画	実 績
スキー場(センターハウス)	118,900 人	72,550 人	104,020 人	53,500 人
雪の湯	57,206 人	24,647 人	-	-
久比岐野	5,006 人	4,257 人	2,000 人	3,645 人
グリーンパーク	71 人	0 人	-	-
棚田動植物公園	1,216 人	1,445 人	170 人	137 人
ふれあい昆虫館	2,138 人	1,569 人	-	-
合 計	184,537 人	104,468 人	106,190 人	57,282 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予 算	実 績	
①収入	261	-	-	-	
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	15,752	41,580	15,453	15,400
	雪の湯休館と少雪の 影響による減収補填 金※1	-	57,136	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	-	-	35,706	-
	直営期間の施設維持 管理費※3	-	-	12,558	10,805
	その他	1,050	1,182	810	284
	雪国文化村リゾート 推進事業	147,289	122,318	178,057	176,237
	合計	164,091	222,216	242,584	202,726
③公費投入額 (②-①)	163,830	222,216	242,584	202,726	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	888	2,127	2,284	3,539	

※1 ゆきだるま温泉「雪の湯」の休館と少雪の影響により、利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するため予算計上したもの。

※3 指定管理者の交代に伴い、令和 2 年 4 月から 6 月の間は、市直営で施設の維持管理を行ったもの。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	191,085	129,654	85,270	50,761
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	14,585	37,800	14,000	14,000
	雪の湯休館と少雪の 影響による減収補填 金※	-	57,136	-	-
	その他	299,717	152,680	60,300	51,893
②支出	504,548	376,450	168,730	131,118	
差引(①-②)	839	820	△9,160	△14,464	

※金額は全て税抜き

※ゆきだるま温泉「雪の湯」の休館と少雪の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※近年の利用者数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ゴンドラや宿泊機能を休止しつつ、そり遊びのイベントやレルヒカップ大会を開催するなど誘客活動を行い、損失の縮減に努めた。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑥ 牧湯の里深山荘>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区宇津俣 285 番地
設置	昭和 61 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,929 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度 (平成 27 年 10 月 1 日から)
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計 画	実 績
利用者数	11,388 人	10,571 人	12,846 人	4,227 人
うち宿泊	1,928 人	1,816 人	2,177 人	460 人
うち日帰り	9,460 人	8,755 人	10,669 人	3,767 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3,098	3,391	2,930	2,840
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,593	15,882	15,882	15,882
	その他委託料	247	927	746	746
	工事請負費	2,867	1,124	4,506	4,477
	工事請負費 (繰越)	36,545	-	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	2,688	-
	その他	518	527	569	547
	合計	58,868	21,851	27,321	24,492
③公費投入額 (②-①)	58,868	21,851	27,321	24,492	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	5,169	2,067	2,127	5,794	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するため予算計上したものの。

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	47,236	45,520	44,800	15,062
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,593	15,882	15,882	15,882
	その他	-	-	-	4,173
②支出		66,719	60,833	58,238	37,017
差引 (①-②)		△3,890	569	2,444	△1,900

※雇用調整助成金等の活用のほか、冬期間での時間短縮営業や休館日を増やすなど、損失の縮減に努めた。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑦ 柿崎マリンホテルハマナス>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	柿崎区上下浜 262 番地
設置	平成 6 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,978 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	柿崎総合開発株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計画	実績
利用者数	34,595 人	24,500 人	33,600 人	9,074 人
うち宿泊	5,508 人	5,198 人	5,900 人	2,602 人
うち日帰り	29,087 人	19,302 人	27,700 人	6,472 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予算	実績	
①収入	170	-	-	-	
②支出	修繕料	2,858	3,516	12,103	12,102
	柿崎マリンホテルハマナス管理運営委託料	3,710	8,107	6,655	6,655
	その他委託料	150	664	500	499
	使用料及び賃借料	111	111	111	-111
	工事請負費	4,590	5,990	3,608	3,608
	備品購入費	-	263	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	2,545	12,265	7,691
	その他	100	106	108	108
合計	11,519	21,302	35,350	30,774	
③公費投入額 (②-①)	11,349	21,302	35,350	30,774	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	328	869	1,052	3,391	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	101,482	90,267	109,150	42,296
	柿崎マリンホテルハマナス管理運営委託料	3,435	7,437	6,050	6,050
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	2,545	-	7,691
	その他	2,533	845	1,200	17,226
②支出		122,630	111,033	116,092	87,115
差引 (①-②)		△15,180	△9,939	308	△13,852

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※雇用調整助成金等やG o T oトラベル事業を活用したほか、一部客室の宿泊者用ベッドの新調による付加価値の向上やレストランメニューの見直し等により客単価の向上による収入増加を図るなど、損失の縮減に努めた。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑧ 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大潟区九戸浜 241 番地 8
設置	平成 9 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 3,138 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社大潟地域活性化センター
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計画	実績
利用人数	91,535 人	87,950 人	77,500 人	41,594 人
うち日帰り温浴	65,245 人	63,093 人	57,300 人	34,273 人
うちプール	19,807 人	18,575 人	16,700 人	5,605 人
うち共通	4,583 人	4,352 人	3,500 人	1,142 人
うち教室	1,900 人	1,930 人	—	574 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予算	実績	
①収入	—	—	—	—	
②支出	修繕料	2,805	9,766	19,224	19,223
	鵜の浜人魚館管理運営委託料	36,075	38,500	38,500	38,500
	その他委託料	3,165	3,426	3,444	3,444
	使用料及び賃借料	826	826	826	825
	工事請負費	—	—	—	—
	備品購入費	891	375	—	—
	新型コロナウイルス減収補填金※	—	3,348	12,182	6,301
	その他	82	86	635	614
合計	43,844	56,327	74,811	68,907	
③公費投入額 (②-①)	43,844	56,327	74,811	68,907	
④利用者 1 人当たりの公費投入額(単位:円)	479	640	965	1,657	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	40,108	40,550	41,220	17,995
	鵜の浜人魚館 管理運営委託料	33,403	35,000	35,000	35,000
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	3,348	-	6,301
	その他	43,375	40,585	45,100	24,496
②支出	116,348	115,659	120,610	83,580	
差引(①-②)	538	3,824	710	212	

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※雇用調整助成金等の活用のほか、営業時間の短縮や冬期間のプール営業を休止するなど、損失の縮減に努めた。

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑨ 吉川スカイトピア遊ランド>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区坪野 1458 番地 2
設置	平成 3 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,405 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計画	実績
利用者数	9,945 人	9,214 人	9,800 人	4,578 人
うち宿泊	1,687 人	1,530 人	1,650 人	652 人
うち日帰り	8,258 人	7,684 人	8,150 人	3,926 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予算	実績	
①収入	70	-	-	2	
②支出	修繕料	681	2,032	563	596
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,666	2,367	2,517	2,517
	その他委託料	292		649	649
	使用料及び賃借料	1,119	1,123	1,136	1,135
	工事請負費	-	405	503	503
	備品購入費	337	73	242	242
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	1,793	5,929	5,859
	合計	5,095	7,793	11,539	11,501
③公費投入額 (②-①)	5,025	7,793	11,539	11,499	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	505	846	1,177	2,512	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	35,209	34,968	36,290	18,283
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,666	2,367	2,517	2,517
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	1,793	-	5,859
	その他	-	-	160	5,602
②支出		38,297	39,730	38,890	33,012
差引(①-②)		△422	△602	77	△751

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※雇用調整助成金等やG o T o トラベル事業を活用し収入増加を図るなど、損失の縮減に努めた。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑩ 吉川緑地等利用施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区尾神 588 番地 1
設置	昭和 57 年度
構造	木造
面積	延床 504 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,247 人	1,034 人	2,500 人	1,221 人
うちボブスレー	495 人	580 人	1,000 人	665 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	64	-	-	
②支出	修繕料	161	1,149	328	-
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,960	1,467	1,467	1,467
	その他委託料	-	103	106	106
	土地借上料	166	166	167	166
	工事請負費	-	393	-	-
合計	2,287	3,278	2,068	1,739	
③公費投入額 (②-①)	2,287	3,214	2,068	1,739	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,834	3,108	827	1,424	

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	148	142	305	180
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,960	1,467	1,467	1,467
	その他	665	488	643	597
②支出		2,580	2,136	2,376	1,660
差引 (①-②)		193	△39	39	584

※吉川区外や近隣施設の利用者などからも積極的な誘客を図るとともに、安全管理に細心の注意を払いながら管理運営を行った。

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑩ 吉川ゆったりの郷>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区長峰 100 番地
設置	平成 9 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 3,457 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社ゆったりの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計 画	実 績
利用人数	133,354 人	127,078 人	129,100 人	74,667 人
うち日帰り温泉	78,609 人	75,085 人	75,000 人	42,989 人
うちレストラン	51,310 人	49,253 人	50,000 人	30,045 人
うちその他	3,435 人	2,740 人	4,100 人	1,633 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	55	-	-	
②支出	修繕料	4,038	6,126	6,622	6,547
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	5,192	5,288	2,644	2,644
	その他委託料	526	1,224	711	710
	備品購入費	5,177	-	-	-
	工事請負費	-	6,189	3,817	3,817
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	4,521	32,454	23,218
	その他	364	293	298	297
合計	15,297	23,641	46,546	37,233	
③公費投入額 (②-①)	15,297	23,586	46,546	37,233	
④利用者 1 人当たりの公費投入額(単位：円)	115	186	361	499	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。